



あつけなく梅雨も明け、一気にものすごく暑くなりました。みなさんお元気ですか？
“水不足か？” “お米は大丈夫か？”と心配は尽きませんが、何はともあれ、もう一息で夏休みです。気張っていきましょう！！

保護者会中の開館時間について

7月14日(月)から17日(木)の保護者会の期間中、図書館は午後4時まで開館しています。
どうぞご利用ください。

夏休み特別貸出と開館時間について

通常の貸し出しは2冊までですが、以下の期間は5冊まで借りることができます。
7月11日(金)～31日(木) → 返却日は8月20日(水)[出校日]午後4時まで開館
8月20日(水)[出校日] → 返却日は9月3日(水)
図書館入口の返却ボックスに返すのはいつでも可能です。

展示ケース

夏休み中、養護教諭の山田先生が、ご好意で、「嵐」に関するコレクションを見せてくださる予定です。「ハリケーン」ではなく、一世を風靡したアイドルの「嵐」ですよ。
ぜひご覧ください。



七夕フェア

笹飾りに多くの人が願いの短冊を下げてくれて、華やかでした。みなさんの願いが叶うといいですね。

読書感想文について

1年生は夏休みの宿題の一つとして、全員提出してください。2・3年生は希望者のみ、図書館に提出に来てください。まとまった時間の取りやすい期間です。あまり読書の習慣のない人も、ぜひ一冊は何か読んでみましょう。それをきっかけに世界が広がるかもしれません。提出してもらう感想文の要項を示しておきます。

- ・A4サイズの原稿用紙に縦書きです。原稿用紙は自分でご用意ください。
- ・量的には原稿用紙5枚です。(1601字以上2000字以内)

- ・横向きに置いて右肩をホッチキスで留めてください。
- ・タイトル・組番号氏名・書籍名・作者名の4項目を原稿用紙1枚目の枠外に書いてください。
- ・提出日は8月20日(水)[出校日]です。

【参考】第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書
名取佐和子 著 『銀河の図書室』(実業之日本社)
ヴィーラ・ヒランダニ 作 山田文 訳 金原瑞人 選 『夜の日記』(作品社)
五十嵐大 著 『「コーダのぼくが見る世界:聴こえない親のもとに生まれて」』(紀伊國屋書店)

図書委員お勧めの本

『 いたいなのいたいな、とんでゆけ 』(三秋 雫)【2年図書委員】
「私、死んじやいました。どうしてくれるんですか？」
何もかもに見捨てられて一人きりになってしまった秋、主人公は殺人犯になってしまった…はずだった。主人公に殺された少女は、死の瞬間を“先送り”することによって十日間の猶予を得て、彼女はその十日間を自分の人生を台無しにした連中への復讐に捧げる決意をする。
「もちろんあなたに手伝ってもらいますよ、人殺しさん」復讐を重ねていく中で、主人公たちは知らず知らずのうちに、二人の出会いの裏に隠された真実に近づいていく…。



陰鬱とした雰囲気の中、復讐が進むにつれ、だんだんとお互いを心の拠り所にしていく描写が魅力的な、読めば読むほど目が離せなくなる作品です。少しでも気になった人は、図書館にあるので、ぜひ読んでみてください！

『 葬式同好会 』(乾ハルカ)【1年図書委員】
この物語の主人公は、北海道立白麗高校三年六組の元クラスメイトたちです。彼らは七年ぶりに再会しました。しかしそれは同窓会ではなく、元担任の水野先生の葬儀でした。彼らは昔の思い出話に花を咲かせますが、そのなかで、普段はやさしい水野先生が授業中に突如激昂し、一人の女子生徒を指示棒で殴った事件、それをきっかけに不登校になってしまった生徒を思い出します。はたしてあれは何がきっかけだったのか？もしその子が不登校にならなかつたら、その後どうであったか？みんなが知らなかった先生の一面。沈黙していた自分たちの責任。だんだんと変化していくお互いの関係。元クラスメイトたちが、それぞれの過去と向き合い、「今できること」を探して、前を向いていく物語です。ぜひ読んでみてください！

